

楠木だより

太子町立龍田小学校
NO.10 R3.1.22
発行者：八木 利仁

新年あけまして おめでとうございます

旧年中は、大変お世話になりました。今年も、龍田小学校の教育活動に温かいご支援・ご協力のほど、お願い申し上げます。



さて、令和3年がスタートしました。今年の干支は、辛丑(かのと・うし)のうし年です。十二支の2番目の干支です。干支の特徴を調べてみると、子年(ねどし・昨年)にまいた種が芽を出して成長する時期で、「先を急がず目の前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていく」あるいは「才能や運気はまだ眠っているが、これから伸びる」という特徴があるそうです。

龍田っ子をはじめ、保護者・地域の皆様が、自分の可能性や目標に向かって着実に努力を重ね、成功や開花に向けて積み上げる、そんな良い年になることを願っています。

緊急事態宣言が再び
兵庫県にも発出され、2
月7日まで緊急事態措置



がとられています。緊急事態宣言下にあっては、これまで工夫をして進めてきた学習活動や学校行事も同じようにはできないこともあります。子どもたちの笑顔が失われることがないように、子どもたちが振り返った時に「良かったなあ」「楽しかったなあ」と思えるように、より良い教育活動に努めてまいります。

保護者の皆様には、今後とも引き続き、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

避難訓練 あの震災を忘れない

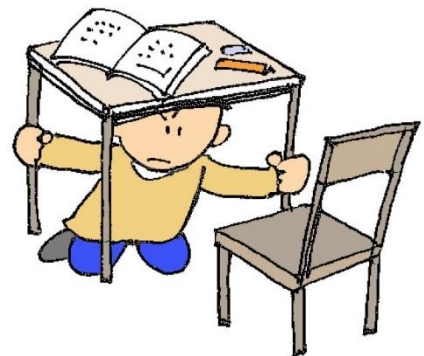
阪神・淡路大震災から26年となる1月17日を前に、1月15日(金)、地震を想定した避難訓練を実施しました。

訓練に先立ち、各学年で震災を語り継ぐ授業を行いました。阪神・淡路大震災や東日本大地震などを語り継ぎ、いつ起きても不思議ではないと言われる大地震に対して少しずつでも備えていきたいと思
しゃべらない
います。地震のいろいろな場面を想定して、とるべき行動についても学習しました。



今回は、新たな取組として、どの時間に訓練を開始するかを事前に知らせずに実施しました。「いつ始まるのかな」と多くの子どもが緊張し、「ここで始まったらどうしたらいいかな」と考えながら開始を待ったことと思います。掃除時間に緊急地震速報のチャイム音によって訓練を開始しました。学校のいろいろな場所で掃除をしていた子どもたち。どのように避難行動をとるかを考えて、真剣に取り組みました。振り返りを通して課題も見つけていました。先生や大人がいなくても、一人一人がそれぞれの場所で自分のとるべき避難行動を考えて動けるように、そう願ってこのような形を取りました。

自然災害から命を守るために、適切に判断し主体的に行動する力を育成するとともに、震災の教訓を継承し、生命の尊重、共生の心を育む教育を今後も進めていきます。



今年も力作ぞろい！ 校内年賀状コンクール

毎年素晴らしい年賀状が出品される龍田小学校校内年賀状コンクール。今年も力作がずらりと並び、賞の選考には本当に苦労しました。

学年	校長賞	教頭賞
1年	山本 紗弥	宮崎 福大
2年	瀧口 凜子	井原 暖心
3年	奥田 彩友香	山本 心結
4年	藏屋 晴陽	吉田 惺那
5年	山本 みのり	木村 瑠斗
6年	朝田 莉緒	小村 朱理
児童会賞		
1年	佐々木 伶	西口 遥心
	柳生 みお	
2年	前田 陽愛	山本 めい
3年	玉田 旭	中野 充希
	松本 桜空	森川 太貴
4年	朝田 優空	河上 愛依
	國澤 歩暖	
5年	北浦 紗愛	辻 瑞貴
	原田 蒼威	
6年	井原 和香	河上 紗姫
	藏屋 日和	藏屋 美羽
	坂野 陽羽	七條 心綾
	橋本 健希	柳生 なつみ



龍田小学校ホームページでは カラーで掲載していますので、ぜひご覧ください。



みんなで広げよう、 シトラスリボンプロジェクト。

2020年度 太子東中学校 トライやるアクション

当たり前と想っていた「笑顔の暮らし」を崩さぶっている

新型コロナウイルス。

今やどこにいても何をしても

いつだって懸念する可能性があります。

誰もが、少しでも心穏やかに暮らせるような町がありが

たそ願われているのかもしれない。

ウイルス感染拡大阻止は、もちろん大事です。

経済対策も大事です。

でももう一つ、忘れてはならないことは

例えウイルスに感染してしまっても

地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。

「ただいま」「おかえり」

お互いにそんな風に言いあえる

受け止める空気であってこそ

安心・安全が守られる町なのだと思います。

私たちの暮らしを守るために

日々奮闘しておられる方々への感謝も込めて

「ただいま」「おかえり」

って言いあえる人の輪を、ここ太子町から。

そんな願いを込めて作りました。

そんな願いを込めて暮らしていきたいです。

コロナ禍で生まれた差別、偏見を互にしたまわりの力で消すプロジェクトです。シトラス色のリボンや黄色のリボンを通して、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を進めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と地域と連携（もしくは交流）です。

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちから、安心して暮らしていけること、住んでいる地域が元気に暮らすこと、また、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せること、そして、安心して暮らすこと、これらが私たちの願いです。皆さんが協力して、このまちを笑顔のまちにしたいです。コロナ禍の状況に不安を感じて、みんなの心から暮らすことが難しくなっている。コロナ禍の「お家」も良くな、暮らす社会を改めて見直したい。

私たちは、シトラスリボンプロジェクトに賛同します。
太子東中学校・太子西中学校・龍田小学校・石部小学校・太田小学校・龍田小学校・龍田幼稚園・石部幼稚園・太田幼稚園・龍田幼稚園
太子町教育委員会・太子町（一社）龍田青年会連合

シトラスリボンプロジェクトに賛同します

太子東中学校がトライやるアクションで取り組んでいるシトラスリボンプロジェクトに私たちは賛同します。

ウイルス感染拡大阻止は、もちろん大事です。
経済対策も大事です。

でももう一つ、忘れてはならないことは
例えウイルスに感染してしまっても
地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの
大切さです。

「ただいま」「おかえり」

お互いにそんな風に言いあえる
受け止める空気であってこそ
安心・安全が守られる町なのだと思います。
私たちの暮らしを守るために
日々奮闘しておられる方々への感謝も込めて
「ただいま」「おかえり」
って言いあえる人の輪を、ここ太子町から。
(ポスターから一部抜粋)

小学校でも高学年を中心に感染症等について考える時間を持ち、この取組を紹介しました。

つくりましょう。「ただいま」「おかえり」って言いあえる太子町を。